

施策コード	5-7
-------	-----

中心所管課	水道課
関連所管課	企画政策課

第5章	人と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくり -都市基盤整備-							
基本施策名	7 水道水の安定供給							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
管路更新率	%	0.4	0.5	8月に実績値 確定予定	1.0	1.0		
基幹管路の耐震管率	%	41.1	42.7	8月に実績値 確定予定	50.0	60.0		
経常収支比率	%	109.5	109.0	6月に実績値 確定予定	100%以上	100%以上		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 水資源の確保	安定的な水資源を確保するため、下流5市で連携して設楽ダム建設事業の促進について国に働きかけた。	・水資源を他市に依存している中、設楽ダムの工期延長について課題が存在しているが、引き続き水源供給地域と良好な関係を保ちつつ、水資源の確保に努める。
2 安全安心な水の供給	老朽化した水道施設を更新するため、また供給する水道水の水質を維持するため、次の事項を実施した。 ・遠方監視設備の更新工事 ・送配水管の更新工事 ・水道水の水質検査業務委託 ・水道施設点検及び設備保守点検の実施	・計画的な水道施設の更新に努める。 ・令和4年度から令和5年度に亘り、遠方監視設備更新工事を実施する。 ・水質の維持及び安心できる水道水の供給に努める。 ・点検により不具合が判明した箇所を修繕する。
3 強じんな水道システムの構築	発生が想定される東海・東南海地震等に耐え得る水道施設とするため、次の事項を実施した。 ・第1南山配水場敷地造成工事 ・西部送水管の更新工事 ・送配水管の更新工事	・計画的な水道施設の更新に努める。 ・令和4年度から令和6年度に亘り、第1南山配水池築造工事を実施する。 ・形原配水場から西浦配水場までの西部送水管の管路更新を実施する。
4 健全経営の持続	水道事業の経営基盤を効率化及び強化するため、また水道事業を支える人材育成のため、次の事項を実施した。 ・収納等総合業務委託 ・給配水管漏水調査業務委託 ・外部研修の受講及び内部研修の実施	・収納等業務の外部委託を継続し、効率的な経営に努める。 ・市内を5地区に分割し、そのうちの1地区の漏水調査を実施し、有収率の向上に努める。 ・外部における有効な研修を継続的に受講する。また、内部において初期教育を実施する。

個別計画の目標指標								
計画名	水道ビジョン				計画期間	令和2年度～令和11年度		
指標名	単位	策定時	実績値				目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
機械設備及び電気設備の老朽化資産の割	%	37.3	37.7	6月に実績値 確定予定			15	10
管路経年化率	%	39.5	40.8	8月に実績値 確定予定			40	45
配水池の耐震化率	%	99.2	99.2	99.2			99.7	100
企業償還元金対減価償却率	%	11.6	8.2	6月に実績値 確定予定			25	30
有収率	%	92.9	92.9	6月に実績値 確定予定			94	95

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
2	遠方監視設備更新	110,165	280,000	遠方監視設備更新工事を発注、機器類の製造を実施	令和5年度に更新工事完了予定
		0.205			
2	送配水管更新	849,634	998,000	延長4,257mの送配水管路を更新	計画的な送配水管の更新及び耐震化に努める。
		6.035			
2	水道水質検査	4,350	5,564	水道基準51項目等について水質検査を実施	安全安心な水道水が提供できるよう継続して水質検査に努める。
		0.183			
3	第1南山配水場更新	417,252	94,300	配水場築造工事を発注	令和4年度に築造工事に着手、令和6年度に工事完了予定、その後供用開始予定
		0.245			
3	西部送水管更新	445,675	385,500	延長1,541mの管路を布設	清田配水場から形原配水場までの区間の更新完了、西浦配水場までの区間の更新を継続
		1.323			
4	給配水管漏水調査	8,800	10,000	延長125kmの漏水調査及び5,527戸の戸別音聴調査を実施	調査で判明した漏水箇所を修繕し、有収率の向上に努める。
		0.555			

総括評価	成果	基幹管路の一つである西部送水管の清田配水場から形原配水場までの区間の布設工事を、平成23年度から開始し、今年度完了した。施設点検等の際に不具合が判明した箇所について、適宜修繕を実施した。
	課題	管路の更新率に対して経年化率の増加が上回り、今後も管路を中心に施設更新事業に注力しなければならない。庁内において、水道事業を経験する人材を事務職、技術職問わず育成する必要がある。また、安定した事業経営を維持するため、収支均衡を図りつつ、適正な水道料金とする必要がある。
	今後の方向	安心して飲める水道水を供給するため、水質の維持、水道施設の更新及び耐震化を計画的に行う。水道事業の健全な経営が継続するように、水道事業に携わる人材の育成に努め、原価計算に基づく適正な水道料金を算出し、料金改定について検討する必要がある。